

第 385 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 平成 30 年 5 月 24 日 (木) 13 時 30 分～14 時 50 分

II. 場 所 財務会計基準機構 会議室

III. 議 題

(審議事項)

(1) IFRS 第 16 号「リース」等のエンドースメント手続

(2) 実務対応報告公開草案「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い (案)」【公表議決】

(3) 公正価値測定に関するガイダンス及び開示の検討

(報告事項)

(1) IFRS 解釈指針委員会のアジェンダ決定案「IFRS 第 9 号『金融商品』－特定の種類のデュアルカレンシー債券の分類」へのコメント

IV. 議事概要

(審議事項)

(1) IFRS 第 16 号「リース」等のエンドースメント手続

小賀坂副委員長及び板橋ディレクターより、IFRS 第 16 号「リース」等のエンドースメント手続について、第 384 回企業会計基準委員会（平成 30 年 5 月 11 日開催）の審議を踏まえて修正された公開草案の文案の説明がなされ、審議が行われた。

(2) 実務対応報告公開草案「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い (案)」【公表議決】

小賀坂副委員長及び三宮専門研究員より、実務対応報告公開草案「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い (案)」等について説明がなされ、審議・採決が行われた。採決の結果、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認された。

(3) 公正価値測定に関するガイダンス及び開示の検討

小野委員長及び川西ディレクターより、公正価値測定に関するガイダンス及び開示の検討について、時価の定義及びガイダンスに関する公開草案の様式、構成及び論点を中心に説明がなされ、第 127 回金融商品専門委員会（平成 30 年 5 月 15 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

(報告事項)

(1) IFRS 解釈指針委員会のアジェンダ決定案「IFRS 第 9 号『金融商品』－特定の種類のデュアルカレンシー債券の分類」へのコメント

資料の提示をもって報告するものとされた。

以 上